

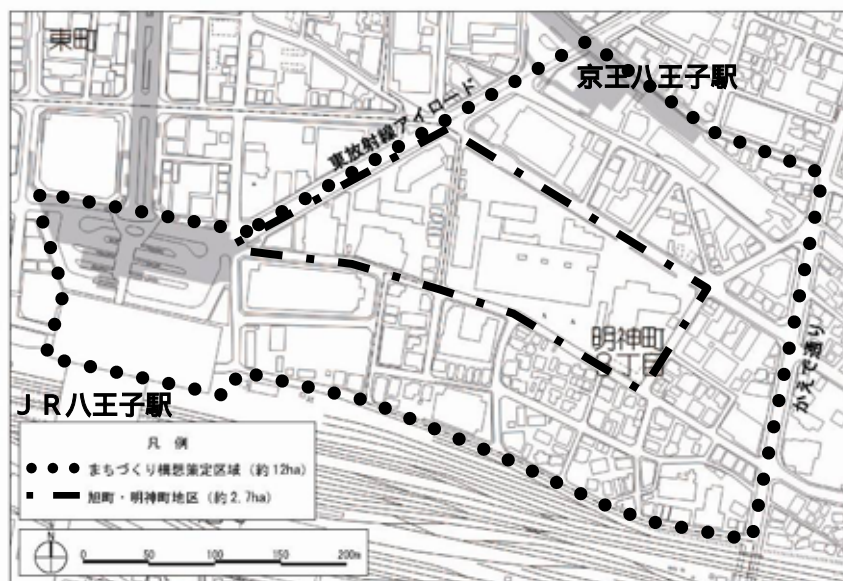
旭町・明神町地区周辺まちづくり構想策定の趣旨等

まちづくり構想策定の趣旨、背景

- 市では、東京都立産業技術研究センター八王子支所跡地（明神町三丁目）に、東京都が産業交流拠点を整備することにあわせ、保健所のある街区（旭町）を含めた旭町・明神町地区とその周辺のまちづくりを検討しています。
- そこで、旭町・明神町地区周辺における将来のまちづくりを円滑に進めるため、まちづくりのコンセプトや方針等を示した構想を策定することとしました。
- まちづくり構想は、平成 21 年度に「旭町・明神町地区周辺まちづくり懇談会」がまとめた「旭町・明神町地区周辺まちづくりイメージ」をたたき台として、「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想検討委員会」での検討を踏まえ、平成 22 年度内に策定します。

まちづくり構想の対象区域

- 旭町・明神町地区周辺の駅や主要幹線道路などの地域の主要施設で囲まれた区域を対象区域として設定します。
- 具体的には、JR 八王子駅北口駅前広場、東放射線アイロード、京王八王子駅、かえで通り及び JR 線に囲まれた約 12ha の区域を対象とします。（下図参照）



まちづくり構想素案の検討経過

- H22 年 3 月：「旭町・明神町地区周辺まちづくりイメージ」作成
- H22 年 4 月：「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想検討委員会」設置
 - 委員は、学識経験者、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、八王子市商店会連合会、JR 東日本(株)、京王電鉄(株)、東京新聞ショッパー社、公募市民の計 8 名
- H22 年 7 月～10 月：4 回の検討委員会を開催し、まちづくり構想を検討

旭町・明神町地区周辺まちづくり構想素案の要旨（概要）

まちづくりのコンセプト

- 賑わい・交流・憩いのまち
 - 商業・業務の新たな拠点と周辺の多様な機能との相乗効果を創出 -

<4つのテーマ>

- 中心市街地活性化を推進するまち
- 多摩地域の中心となる新たな拠点を活かし発展するまち
- 次世代に引き継ぐ都市環境を育む持続可能なまち
- 市内外の多様な人々が集い交流する特性を活かしたまち

まちづくりの基本目標

- 個性豊かな商業・業務機能の集積や、魅力的な生活文化機能の充実により、中心市街地の活性化を推進する新たな核としてふさわしい賑わいの創出
- 多摩シリコンバレーの形成に向けた産業交流拠点の整備効果を活かし、地域内から広域に及ぶ、ヒト・モノ・コトなど多様な交流の促進
- 憩いやゆとりのある都市活動や暮らしを実現する、安全・安心で、環境・景観に配慮した、来街者・就業者・居住者等の誰にとっても快適な都市空間の形成

まちづくりの方針

（土地利用の方針）

- 土地の有効利用により居住、業務、商業機能等の集積を図り、中心市街地活性化に資する新たな拠点形成を目指すため、4つのゾーンを設定し、その特性に応じた土地利用を図ります。
- 「商業・業務拠点ゾーン」（旭町・明神町地区）、「JR北口駅前商業・業務ゾーン」、「京王駅前業務・商業ゾーン」、「生活利便複合ゾーン」の4つのゾーン毎に基本の方針、整備方針を示します。

（都市基盤の整備方針）

- 駅周辺の脆弱な交通体系を改善し、まちのうるおいや憩いに資するオープンスペースや歩行者空間の整備によりまちの回遊性を高めます。
- 「魅力ある駅前空間とシンボル軸の形成」、「幹線道路等の整備」、「歩行環境の整備」の3つの観点から基本の方針、整備方針を示します。

まちづくりの進め方

- 土地利用の方針等の検討を深め、対象区域のまちづくりにかかわる多様な主体との連携・協働により、規制誘導手法等を用いて一体的なまちづくりを推進します。
- 実現に向けた想定の実備スケジュールを短期、中期、長期として示しています。

まちの将来像

- 旭町・明神町地区周辺の将来のまちのイメージを示します。